

2007年11月9日

VOL. 12

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

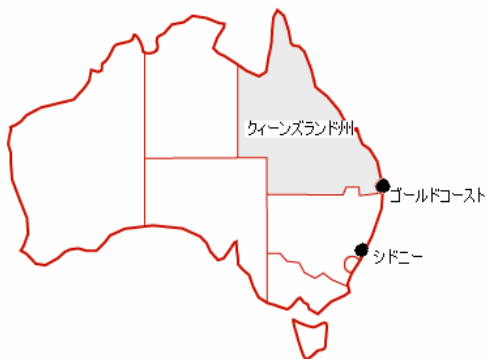
県国際交流員が母国を紹介！

日本の大切なパートナー、オーストラリア

■今のオーストラリア！

今、オーストラリアの景気が絶好調です！ところどころでは干ばつが続いているにもかかわらず、オーストラリアの失業率は33年間で最も低く、株式市場も記録的に高値となっています。オーストラリア準備銀行(RBA)によると、オーストラリアの1人当たりのGDPは、ニュージーランドや米国、カナダ、そしてオランダよりも高くなっています。この16年間、オーストラリアの景気は、連続して見事な成長を遂げてきました。これは、私の出身地「ゴールドコースト」でも顕著です。

先日、私がゴールドコースト市に帰省した時、家の近くに新しいショッピングセンターが完成していることに気がきました。この10年間で、家の近くに新しくできたショッピングセンターは、これで3軒目です。ドライブをすれば、今までに走ったことのない道路が新しくできています。中心街へ近づくと、新しいレストランやカフェがあちこちに建ち、建設中の高層ビルがいくつもあるのがわかります。ゴールドコースト市の目まぐるしく変化する風景は、オーストラリアの景気の発展を最も反映していると言えます。



■日豪の緊密な経済関係

日本とオーストラリアの深い関係は、オーストラリアの経済発展に大きな影響を与えてきました。オーストラリアにとっては、日豪関係は最も成功した2か国関係であり、日本はアジア太平洋地域の中で最も

大切なパートナーです。

2007年は日豪通商協定の調印50周年になります。1957年、オーストラリアと日本は日豪通商協定に署名しました。これにより、オーストラリアにとって有意義で成果ある貿易関係が成立しました。1957年以来、日本への麦の輸出が20倍も増加し、牛肉の輸出は100倍、また石炭は200倍も伸びました。

一方、日本からは、車やコンピューターをはじめとする工業製品の輸入が増加しました。このように両国の関係が深まる中、80年代からオーストラリアに投資する日本の企業が増えていきました。

2006年には、日本はオーストラリアにとって3番目に大きな外国直接投資国とした（不動産、鉱山及び金融サービスを主とした250億ドルの総資本）。

特に、ゴールドコースト市は、80年代から世界屈指のリゾート地として不動産関係の投資で注目を浴びていましたが、日本のバブル経済、海外旅行ブームにより、さらに不動産業と観光業が伸びました。



ゴールドコースト：ビーチ沿いに立ち並ぶ高層ビル

このところ急激に、40キロに渡る海岸に沿って、高層ビルのホリデーアパート(コンドミニウム)が立ち並んできたのも好景気である証拠です。海外の資本で開発され、海外の投資家達が個々のマンションを次々に購入し、海外のリゾート

目次

県国際交流員が母国を紹介！	P 1 P 2
海外支援部から補助金のお知らせ	P 2
境港 インフォメーション	P 3
台湾での販路拡大を目指す皆様へ	P 4
「鳥取県産食品輸出個別商談会 in 上海」が開催されます	P 4
ジェトロ輸出支援事業のご紹介	P 5

世界の祝日～12月～

■香港	25日	クリスマス
	26日	クリスマス後の第一の平日
■韓国	25日	クリスマス
■インドネシア	20日	犠牲祭
	25日	クリスマス
■タイ	5日	国王誕生祭
	10日	憲法記念日振替休日
	31日	大晦日
■フィリピン	3日	ボニファシオ記念日
	24日	特別休日
	25日	クリスマス
	31日	リサル記念日、大晦日
■マレーシア	20日	聖地巡礼祭
	25日	クリスマス
■シンガポール	20日	聖地巡礼祭
	25日	クリスマス
■オーストラリア	25日	クリスマス
	26日	ボクシングデー
■アメリカ	25日	クリスマス
■カナダ	25日	クリスマス
	26日	ボクシングデー

出所：ジェトロ通商弘報
 「世界の祝祭日2007年版」から

客に利用されています。また、国際レベルのゴルフ場も次々と開発され、年間70万人も訪れる日本人観光客の増加によって、日本人の働き口も増え、日本からワーキングホリデービザでやって来る若者の数も一気に増えました。

■日豪の成熟した友好関係

昨年は日豪交流年であったため、日本とオーストラリアの間で、年間を通じて、文化、教育、科学などを含めた広い分野の交流活動が行われました。これは、日豪友好協力基本条約が1976年に結ばれてから30年目を迎えたため、その友好関係を記念して実施されたものです。

友好関係が設立して以来、各州と都道府県、また市町村や学校等の間で結ばれている姉妹関係は100を超えました。オーストラリアには、いまや年間7万人の修学旅行生が訪れています。

ワーキングホリデーの制度では、1980年以来、12万6千人を超える日本人がオーストラリアを訪れ、仕事や旅行をしながらオーストラリア人と交流をしてきました。

また、1980年以来、2万7千人のオーストラリア人の若者が日本を訪れました。私も5年前、同じように、ワーキングホリデーによって日本を訪れました。

近年は、ワーキングホリデーや留学で何千人も来日するほか、旅行で日本を訪れるオーストラリア人も急速に増えました。最近では、この15年間で豪ドルが最も高く、オーストラリア人にとって旅行をしやすいつ時代になっています。旅行会社、マスコミのPRやロコミの力を通して、毎年何千人のオーストラリア人がシドニーから北海道のニセコ町へやって来ます。オーストラリアの暑

い夏を避け、日本の真っ白なパウダー・スノーと贅沢なイメージがある温泉に魅了されているのです。これからは、北海道だけではなく、日本全国の魅力（特に鳥取県の魅力）に注目が集まることを、私は期待しています。

《参考》

為替相場 1豪ドル = 105円 (2007年11月)

オーストラリア大使館

www.australia.or.jp/seifu/50

オーストラリア貿易促進庁 (Austrade)

www.austrade.or.jp/industry

プロフィール

シェリー・メガリー (Shery Megaly)

オーストラリア ゴールドコースト出身

2005年8月より鳥取県国際交流員を勤めている



【鳥取県文化観光局交流推進課国際交流員

シェリー・メガリー】

海外支援部から補助金のお知らせ

平成19年度とっとり県内企業海外チャレンジ支援事業補助金

当財団では、県内企業の海外見本市出展、サンプル輸入事業などの海外展開活動を支援するため、「とっとり県内企業海外チャレンジ支援事業補助金」を設け、平成19年度の補助対象事業の募集をしておりますのでご案内します。

■名 称：

とっとり県内企業海外チャレンジ支援事業補助金

■目 的：

県内企業が行う海外展開活動に対し、その経費の一部を助成することで、海外との経済交流の活性化に貢献する。

■対象事業：

- ①海外見本市・商談会出展
- ②輸出入品の販路開拓等を目的とした国内での展示会・商談会
- ③サンプル輸入事業

※ただし、補助対象経費の総額が40万円以上の事業とする。

■対象経費：

- ①事業に必要な旅費
- ②サンプル・展示品輸送経費
- ③見本市・商談会等出展に要する現地活動費
- ④資料作成・翻訳経費・報告書作成経費
- ⑤サンプル輸入経費
- ⑥サンプル開発・試験経費
- ⑦その他理事長が必要と認める経費

■補助金の額：

補助対象経費の1/2以内(上限100万円)

■募集期間：

随時。ただし補助金予算額が満額になり次第、締切。事業実施2ヶ月まで(目安)までにお申込みください。

詳細は、当財団HP <http://www.toriton.or.jp/> から、「部署別で探す◆海外支援部」⇒「海外チャレンジ補助金のご案内」をご覧ください。

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援部 早川】

境港インフォメーション

境港のコンテナサービス

■ 境港のイメージは魚と観光

境港のイメージは？こう尋ねて「定期コンテナ航路が就航している国際貿易港」と答が返ってくることは残念ながらほとんどありません。

8月に、たまたま米子市内で開催されたある会合の席上、企業の皆様にお尋ねしたときも、70～80人の参加者のうち、国際貿易港と答えられた方はわずか1名でありました。

境港といえば、やはり「漁業のまち」「鬼太郎を中心とした妖怪などの観光のまち」がメインで、貿易港としてのイメージは定着しているとは言い難い状況です。

同じ時期に東京で開催した、境港利用促進懇談会においても、やはり、境港は魚と観光という方がほとんどでした。

ちなみに、前記の利用促進懇談会は、貿易関係の方々を中心にお集まりいただきましたが、専門業界でさえ、境港の知名度向上は、これからもさらに必要とされています。

■ 定期コンテナ貨物量の増加が課題

さて、国際貿易港としての境港は、日本海側の西日本の拠点港として、平成7年に境港の周辺地域がFAZ（輸入促進地域）に指定されて以来、着実に貨物量の伸び、平成18年には、全体取扱貨物量が455万トンあまりと前年を3.4%上回り、輸出入量が、過去最高を記録したところでした。

一方、境港における定期コンテナ貨物量は、平成16年の15,399TEUをピークに、近年やや足踏み状態が続いています。

境港の定期コンテナ航路は、中国と韓国とに毎週5便が就航しており、境港周辺企業の皆様にとって、東アジア地域をはじめとして、全世界との貿易に大きく

貢献しています。

特に、「世界の工場」から「世界の市場」へと変貌を遂げつつある中国の主要港や、東アジアのハブ港である釜山港とも距離的に近く、国内他港と比べて地理的な優位性があります。

■ 「東北亜フェリー航路」の境港への寄航を目指す

この外、境港市は、かねてから環日本海地域との定期航路実現に取り組んでいます。

現在、吉林省に進出している日系企業などが中心となって、中国東北部からロシア沿海地方を抜け、日本海沿岸のロシアの港から、韓国東草を経て新潟へと「東北亜フェリー航路」の就航が予定されています。

境港貿易振興会は、境港市など関係機関と連携しながら、この航路が実現する際に、境港への寄港を働きかけ、そのための貨物創出などに取り組んでいるところです。

境港市竹内団地にある「夢みなとタワー」の2階には、株式会社さかいみなと貿易センター、ジェトロ貿易相談デスク、境港貿易振興会が1室に入居しており、企業の皆様の海外展開についてご相談に乗れる“とっとり貿易支援センター”の西部窓口がありますので、是非ご活用ください。

■ 定期コンテナ船寄港日 (H19年10月29日時点)

日	月	火	水	木	金	土
	中国 韓国	韓国		韓国		中国

※釜山トランシップにより、東南アジア・中国各港および欧米等世界各地への接続も可能です。

※韓国航路月曜日寄港のSUNNY OAK号は輸入のみの取扱いとなります。

境港と韓国を結ぶ
定期コンテナ航路
(H19年10月29日時点)



韓国航路 [境港～釜山 間 最短1日 釜山トランシップで世界各地へ接続]

- 毎週月曜日寄港 高麗海運(SUNNY OAK)
釜山(日)→**境港(月)**→直江津(水)→秋田(木)→酒田(金)→釜山(土)
(一部スペース有り：天敬海運)
- 毎週火曜日寄港 興亜海運(ASIAN CYGNUS)
釜山(日)→舞鶴(月)→敦賀(月)→**境港(火)**→釜山(水)
- 毎週木曜日寄港 高麗海運(SUNNY SPRUCE)
釜山(日)→熊本・八代(月)→長崎(火)→釜山(水)→**境港(木)**
→金沢(金)→釜山(土) (一部スペース有り：天敬海運)

中国航路 [境港～上海 間 最短3日 中国との直行便]

- ツネイシHD 神原汽船カンパニー
- 毎週月曜日寄港 (METHAN)
上海(金)→伊万里(日)→**境港(月)**→志布志(水)→上海(金)
 - 毎週土曜日寄港 (COCOPALM ISLE、HIBISCUS ISLE)
大連(水)→青島(木)→上海(土)→新潟(火)→小樽(木)→**境港(土)**→大連(水)

台湾での販路拡大を目指す皆様へ

日本産農水産品、食品の台湾市場での今後の販売可能性動向について

昨今、中国産食品等の安全性についての懸念が、日本、米国などを中心に、世界的に高まっている。「おいしい、安全、安心」を旗印とする高付加価値の日本産品への需要が増大しているが、この機会を活用して、鳥取県産の農水産品、食品の台湾市場での更なる拡大の可能性について検討してみたい。

■「知日派」と「哈日族」

台湾では、日本の食文化を憧れの対象として見ている人々が、年配の人を中心として、若い世代にもかなり浸透してきている。前者は日本統治時代を経験している「知日派」、後者は、アニメやファッション、音楽、食べ物など、日本の流行文化なら何でも好きな「哈日族」。

■「鳥取ブランド」を台中・高雄地区へ

人口約260万人の台北市、日本の新幹線技術を導入した台湾高速鉄道で、台北から50分の台中市の人口は約100万人、同90分の高雄市は約150万人の消費者が存在する。

日本側の今後の課題としては、現在、台北を中心に行われている過当競争とも思える日本勢同士の売込み



高雄初の大型ショッピングモール「夢時代購物中心」

を、消費市場としての潜在力を備えつつある台中・高雄地区にも拡大し、面としての市場展開を図っていかれるかどうか、大きな課題であろう。

先行する「北海道ブランド」。梨の関係で、伝統的な強みを持つ「鳥取県ブランド」。これが、他県を差し置いて、強力な存在感として発揮出来るのは、台湾のどの地域か。

■鳥取県と台中県の密接な関係を活かす

現在、台中県から鳥取県に国際交流員が派遣されて来ており、各種の交流事業が積極的に展開されている。台中県には、鳥取県より毎年出荷する穂木を接ぎ木して、赤梨が栽培されている。鳥取県の「種」が台湾の地に移植され、現地において鳥取の分身として、大きく開花している。また、本年3月、鳥取県三朝町は、台中県石岡郷と交流推進協定を締結し、「梨の縁」を更に拡大、台湾からの観光客誘致を図りつつあるところだ。これらのチャンスをビジネス交流につなげる「好機到来」と見るべきだろう。

この台中県において、鳥取県物産・観光展を開催するとなれば、友好・交流関係にある台中県政府からの相応のサポートが期待できると思われる。

■大きな可能性を秘める高雄

一方、台湾における上海の形相を呈してきた高雄市。グレーター高雄の一角として、本年5月にオープンした大型ショッピングモール「夢時代購物中心」（ドリーム・モール）に、核テナントとして入居、好調なスタートを切った統一阪急百貨。この地区は、さながら、上海・浦東新区を彷彿させる。

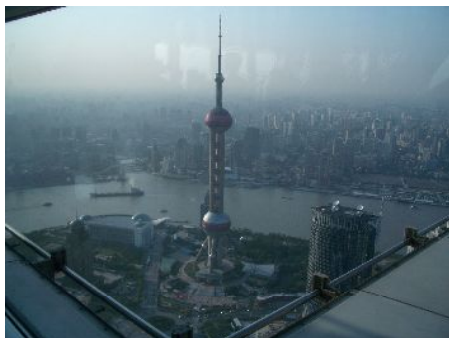
台北以外での物産展開となると、意見が分かれるところだ。

【ジェトロ貿易相談デスクアドバイザー 黒住】

「鳥取県産食品輸出個別商談会in上海」が開催されます

鳥取県では、中国・上海市において、県産食品の輸出を対象とした個別商談会を開催し、県内企業の海外販路展開を支援します。

経済発展著しい中国は、富裕層の増加に伴い、購買力の増加もうかがえます。中でも、特に富裕層が多い上海市では、安全・安心・健康をキーワードに、日本食品の需要が高まり、今後、県産食品の有力な輸出先として注目しています。



日 時：2007年11月16日(金) 13:00～17:00
場 所：上海シェラトン・グランド太平洋大飯店
商談相手：貿易商社、食品卸、百貨店・日本食レストラン等バイヤー
主 催：鳥取県
協力機関：(財)鳥取県産業振興機構
商談企業（県内企業）：
酒造、食品加工、水産加工企業など10社

商談会前日の15日に在上海日本国総領事公邸で開催する「食のみやこ鳥取県in上海レセプション」では、商談会参加企業の食材を使った料理を提供し、PRをします。

【鳥取県商工労働部市場開拓局市場開拓室 山本】

ジェトロ輸出支援事業のご紹介

輸出有望案件発掘支援事業

ジェトロは、2005年度より「輸出有望案件発掘支援事業」を実施しています。この事業は、優れた技術力やオンリーワン商品など、優秀な製品を持っていながらこれまで輸出経験がない、あるいは輸出ビジネスを躊躇しているといった中小企業（製造業）を全国から発掘し、海外販路開拓・輸出成約に向けた支援を行うものです。

■支援対象業種

- ①機械・部品
- ②繊維（主にテキスタイル）
- ③伝統産品・和雑貨
- ④環境・バイオ・福祉
- ⑤食品

■支援対象となる企業

- ①優れた技術力やオンリーワン商品など、優秀な商品を持っていながらこれまで輸出経験がない、あるいは輸出ビジネスを躊躇している中小企業

②これまで何度か海外への売込みを試みたものの、単発に終わり、輸出ルートが構築できていない中小企業

③すでにある国（例えば米国）に輸出ルートを持っているが、その他の市場（中国やドイツなど）への販路を開拓したい中小企業

事前審査を経て、候補企業の中から支援対象企業を選定させていただきます。対象企業には、輸出指導、海外バイヤーの発掘、海外への商談随行、輸出契約締結までの一連の支援を行います。

鳥取県内では、すでに2社を対象企業として採択し、支援を行っています。

詳細は、<http://www.jetro.go.jp/jetro/activities/export/support/> をご覧いただくか、ジェトロ鳥取までご連絡下さい。

【ジェトロ鳥取 志牟田】

編集後記

最近、中国が1999年から年に3回実施してきた大型連休制度が見直される可能性があるという話をよく聞きます。

中国の3大連休は、春節、労働節、国慶節で、それぞれ1週間の法定休日が設けられています。

その中で、労働節連休の法定休日を3日から1日に短縮し、これまでは休日ではなかった伝統的な祝日（清明節、端午節、中秋節）をそれぞれ1日ずつ休みとする案が出ているそうです。

大型連休制度見直しの理由として、

連休中に観光客が集中する観光地の環境破壊や、交通機関のマヒが挙げられています。

10月1日の国慶節に、北京の故宮博物院に最大収容人数の2倍を超える観光客が押し寄せ、ゴミを大量放棄したり、伝統的建築物を破損したという話も聞きます。

年3回の大型連休はうらやましいような気もしますが、大きな弊害を伴っているのですね。【那】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構海外支援部（担当：早川）

E-mail: kaigai@toriton.or.jp TEL: 0857-52-6735

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?sub=1&cate=9&ind=1>

とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■（財）鳥取県産業振興機構海外支援部
TEL 0857-52-6738

■ジェトロ鳥取貿易情報センター
TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■縞さかいみなと貿易センター
TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会
TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局
TEL 0859-42-3705

■ジェトロ貿易相談デスク
TEL 0859-45-2203

■鳥取県商工労働部産業開発課
TEL 0857-26-7243